



新別府病院 放射線科 岡原美香

私のキャリアパス

1995年（平成7年）に大分医科大学（現 大分大学）放射線科に入局しました。大分大学では画像診断全般と脳血管内治療を含めたIVRや診断の血管造影もすべて放射線科で行う事になっていました。脳血管内治療に関しては、当時は清末一路先生と堀雄三先生の二人で行っていました。症例数はあまり多くありませんでしたが、私の先輩医師で脳血管内治療医を希望する人がいないこともあり、1年目のときに誘っていただき、脳血管内治療のお手伝いをする事となりました。

1998年に永富脳神経外科に清末先生と田上秀一先生が本格的に脳血管内治療を開始するため赴任しました。2000年に田上先生と交代で同院に出向後、放射線科専門医を取得、2年ほどで大学に戻り、放射線科診断専門医として画像診断、IVR（主に血管系）を行っていました。2004年に脳血管内治療専門医取得を機に新別府病院で新たに脳血管内治療を始めるために赴任しました（日常業務の9割は画像診断です）。不安もありましたが、当時の脳神経外科部長、神経内科（現 脳神経内科）部長が非常に優しく、3科でカンファレンスを行って連携を取りながら脳血管内治療をスタートすることができました。脳神経外科では脳血管内治療を行う医師がいなかったこともあり、治療時には清末先生をはじめとして先輩後輩問わず、支援をしていただきました。2023年に脳神経外科の常勤医がいなくなったため、現在は自院では血栓回収のみ行っており、近隣にある後輩の所属する病院で症例があるときにお手伝いに行っています。

学術面に関しては前教授が国際学会への演題登録や英文での論文投稿を推奨しており、清末先生から国内外の学会発表や論文作成の指導をしていただき、2006年に学位を取得しました。

私生活ではパートナーはいますが、ふたりとも姓を変えることに抵抗があり、事実婚という形を取っています。子供はいないので活動の制限はなく、恵まれていると思います。

今後の抱負、会員へのメッセージなど

私の場合環境が特殊なのであまり皆さんの参考にはならないと思いますが、機会を与えられた時に少し大変に思えても断らなかつたことで、今の自分があると思っています。

与えられた機会を無駄にせず、頑張りましょう。